

総合工学委員会・機械工学委員会合同
工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
安全におけるリスクアプローチ適用検討小委員会（25期 第2回）
議 事 要 旨

1. 日 時 令和3年4月28日（木）15:00～17:00
2. 会 場 遠隔会議（主催会場：横浜国立大学澁谷教授室）
3. 出席者 （敬称略）

【委員】 浅間 一、小野恭子 鎌田 実 柴山悦哉、渋谷忠弘
須田義大、永井正夫、野口和彦、松岡 猛、向殿政男、
中村昌允

4. 議事次第

（1）前回議事録の確認

配付資料に不備があったので、委員長の承認のもとに、確定版を各委員に送付する。

なお、小野委員、鎌田委員は、前回、オブザーバー出席であったが、今回より、委員として出席する。

（2）議事の進め方

野口委員長より、リスクアプローチの検討や議論展開について、上部委員会より、多様な意見を反映する事が要請されたことが報告された。

（3）安全工学シンポジウム「パネルディスカッション」について

（1）パネルディスカッションの進め方

24期の提言「工学システムの社会安全目標の新体系」の社会への実装化を図るために、リスク評価への要求事項について、パネリスト間で議論を行い、リスクアプローチの有効性と課題について議論する。

（2）パネリスト

小委員会のメンバー以外の者も加えて、多様な進展を展開できるメンバーとする。

（3）今後の進め方

パネリストが確定後、パネリスト間で、パネルディスカッションの内容について検討する。（5月中にリモート方式）

次回小委員会は、パネリスト間の議論を踏まえて、安全工学シンポジウムの開催前にパネルディスカッション内容について審議する。

（4）話題提供

向殿委員より「リスクを誰が決めて誰が受け入れるのか」の話題提供があり、安全や安全目標のあり方等について議論を行なった。

なお、中村委員による話題提供は、次回以降に延期することとなった。

(5) 次回委員会の予定

小委員会は、安全工学シンポジウム前の6月初旬に開催。

5. 配布資料

資料1 第1回小委員会議事録

資料2： 向殿政男「リスクを誰が決めて、誰が受け入れるのか」

資料3： 中村昌允「安全目標の社会への適用について」

資料4： リスクアプローチ小委員会安全シンポジウム案

以上